

お知らせ

令和3年8月10日低気圧に伴う降雨による出水により
やぎさわ ぼうさいそうさ
矢木沢ダムは、防災操作（洪水調節）を行いました。

防災操作により矢木沢ダムに貯留（約18万 m^3 ）

矢木沢ダム流域では、8月10日5時から8月11日12時までの累計で、74.7mmの降雨量を観測しました。

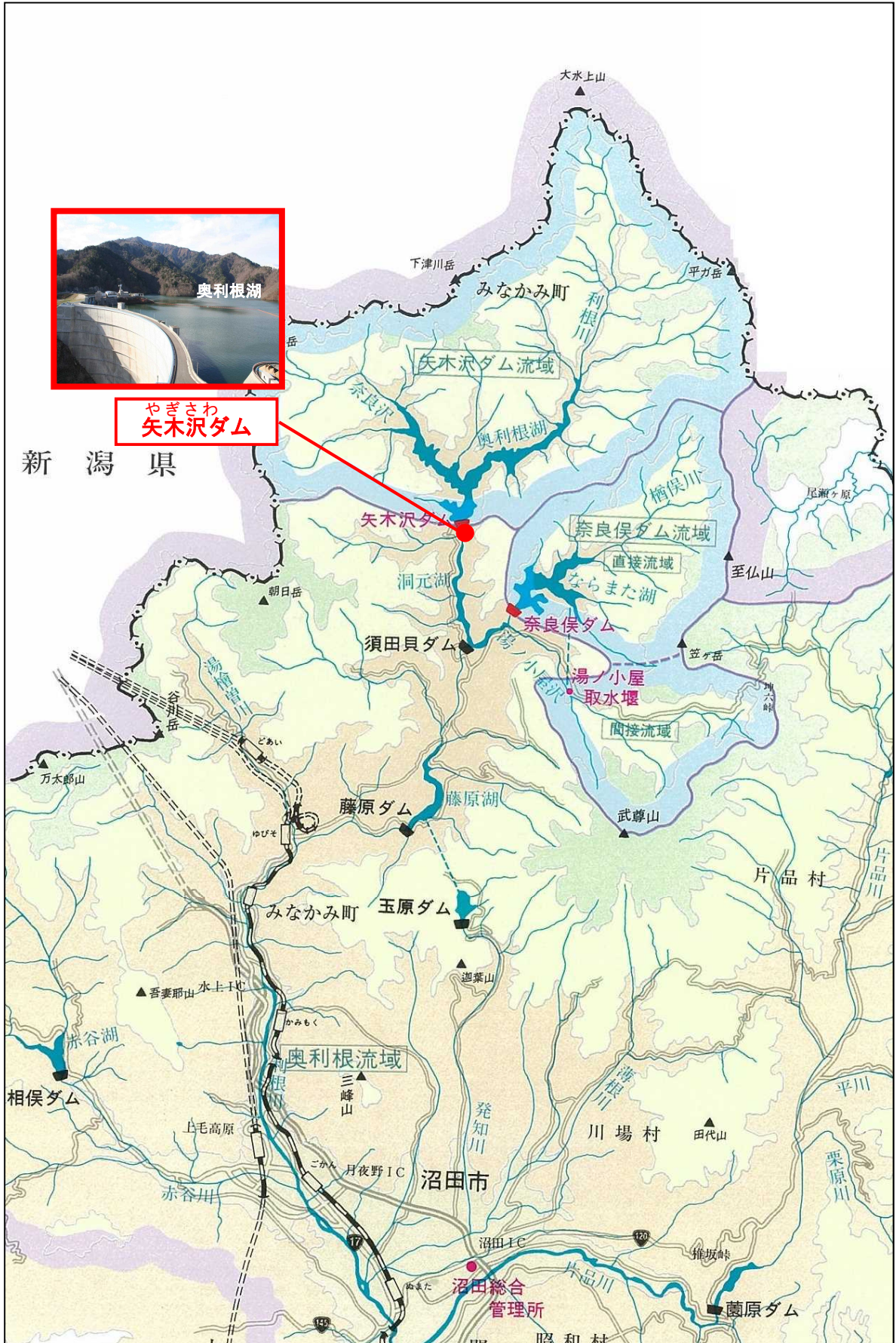
この降雨によって、矢木沢ダムへの流入量が増えたことにより、10日18時20分に流入量が洪水量（毎秒100 m^3 ）に達したため、防災操作（洪水調節）を実施し、ダムに約18万 m^3 を貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作（洪水調節）を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めてまいります。

※防災操作（洪水調節）とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注）数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作（洪水調節）の状況図

